



克己自問

甲西中学校だより

(こっきじもん)

2022・6・30発行

発行者：校長 名取 和仁

中巨摩総合体育大会

6月14日（火）・16日（木）・18日（土）・23日（木）に中巨摩総合体育大会が行われました。14日～18日までは陸上競技以外の種目が行われ、男子バレーボール部、女子バレーボール部、女子バスケットボール部、男子ソフトテニス部、女子卓球部が7月25日から行われる山梨県中学校総合体育大会に進みます。23日には陸上競技の部が行われ、8位入賞が延べ24枠（内訳：18人とリレー2チーム）、このうち延べ19枠（内訳：15人とリレー1チーム）が県大会を決めました。陸上競技には、陸上部の生徒と陸上部以外の生徒も出場し、持てる力を精一杯発揮してきました。県大会での活躍を期待しています。

また、3年生の中にはこの大会で引退となる生徒もいます。3年間よく頑張ってくれたと思います。お疲れさまでした。



総体の応援

本年度の中巨摩総合体育大会では、会場の環境によって保護者の観戦を行った競技があります。観戦を行った各会場には、新型コロナウイルス感染症対策のガイドラインに従い、感染症対策を行ったうえで多くの保護者の皆様に応援をいただきました。ありがとうございました。また、環境が整わず観戦ができなかった競技については申し訳ございませんでした。皆様のご理解、ご協力に対して深く感謝申し上げます。

いつもありがとうございます。



学習にも力を入れています ～中間テスト・学習会～



5月24日（火）に1学期中間テストを全校で行いました。これまでの学習の成果を確認するために、5教科（国語・数学・理科・社会・英語）について一斉テスト形式で行いました。

テスト前の取り組みとして各学年が放課後の時間を使って、学習会を開催しました。生徒からの質問に答えたり、要点を説明したりするなど学年ごとに実施しました。特に1年生は初めての定期テストなので、不安も多かったと思います。このような取り組みが、子どもたちの不安解消につながれば幸いです。



小中一貫教育について②

小中一貫校育の目的（2）教員の意識改革と指導力の向上

これからの教員には、学級経営や子ども理解等の力に加えて、学習指導要領に示される「カリキュラム・マネジメント（＝教育課程を編成・実施・評価・改善すること）」や「主体的・対話的で深い学び」を実現するための指導力が必要となります。そこで、小中一貫教育を推進することで、小学校教員と中学校教員が共通して義務教育9年間で子どもたちを育てるという意識改革に取り組むとともに、学校組織として教員の指導力の向上を図ります。

絵画の寄贈 ～宮澤千秋先生～

6月1日（水）に宮澤千秋（みやざわちあき）先生から、本校に絵画を寄贈していただきました。宮澤先生は

平成11年度に増穂小学校校長として退職後、本校で数学の教師としてもお勤めいただいた先生です。退職後、日本画の勉強をされ、日本画院等で多くの賞を受賞されています。

この日本画は、宮澤先生が自らカンボジアに行ってスケッチされた「アンコールワットの遺跡」というタイトルの人物画です。

宮澤先生ありがとうございました。

